キャラクター名: 秋 流星(とき りゅうせい)

プレイヤー名:

シンドローム	モルフェウス キュマイラ	**ワークス**	UGNチルドレンA	**カヴァー**	UGN一般職員…だった
オプショナル	ハヌマーン	**年齢**	推定15、たぶん	**性別**	男
覚醒	感染	**衝動**	破壊	**初期侵食率**	30 %
出自	天涯孤独	**経験**	大事故	**邂逅**	明星晃/あけぼしあきら (PC③)

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	4	1	0			5
感覚	2	0	0			2
精神	0	0	1			1
社会	2	0	0			2

HP	31
行動値	5
(非装備時)	5
戦闘移動	10
全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	**SL**	**修正**	**技能**	**SL**	**修正**	**技能**	**SL**	**修正**	**技能**	**SL**	**修正**
白兵	8		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志		1	調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品

コネ：UGN幹部
決闘者の剣
ウェポンケース
思い出の一品
バディムーブ(エンブレム)UGP31

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
賢者の石	P	N		
七曜 ミカゲ/PC②	P 幸福感	N 不安		
故郷(秋好市)	P 幸福感	N 疎外感		
宇曽谷 葵	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	6	残り財産P：	2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセ：ハヌ	3	2	メジャー	ー	ー	シンドローム	ー	
効果：	C値-3							
水晶の剣	2	4	メジャー	至近	ー	自動	ー	
効果：	他のエフェクトと組み合わせ不可、武器を一つ選択、そのシナリオ間、選択した武器の攻撃力を+[Lv×2]する、1シナ3回まで							
天の業物	1	4	オート	視界	単体	自動	LIMIT	
効果：	《水晶の剣》を使用した武器を使用した攻撃の判定の直前に使用、その判定のC値を-1(下限値5)、このエフェクト1シナ1回							
フルパワーアタック	2	3	セットアップ	至近	自身	自動	80%	
効果：	R中白兵攻撃の攻撃力+[Lv×5]する、ただし行動値0となる							
居合い	4	3	ﾒｼﾞｬｰ/ﾘｱｸｼｮﾝ	ー	ー	白兵	ー	
効果：	このエフェクトを組み合わせた判定の達成値に+[Lv×2]、1R1回							
砂の加護	2	3	オート	視界	単体	自動	ー	
効果：	対象が行う判定の直前に使用、その判定のダイスを+[Lv+1]個する、1R1回							
砂塵霊	2	3	オート	視界	単体	自動	LIMIT	
効果：	《砂の加護》と同時に使用、攻撃の攻撃力+[Lv×4]する							
風の支配者	★	ー	メジャー	視界	範囲選択	自動	ー	
効果：	空気にうねりを起こし、周囲に風を発生させる							
眠れる遺伝子	★	ー	常時	至近	自身	自動	ー	
効果：	狼…みたいな子犬になるんだよなぁ、何でだ？							
獣の直感	★	ー	メジャー	至近	自身	自動	ー	
効果 :動物が持つ鋭敏な知覚によって、僅かな気温や湿度の変化、あるいは地磁気や海流の変化などを読み取ることで、天候や地震などを予想するエフェクト								
贋作師	★	ー	メジャー	至近	自身	自動	ー	
効果：	見た事のある物品の複製品を錬成するエフェクト、一度でも見た事があれば外見や手触りは完璧に再現できる							
効果：								
効果：								

Butterfly-Effect FatalityCPシナリオ
第2話「Check out the Time of ...」PC①
キミはUGNの一般職員(非オーヴァード)だ。
過去にUGNエージェントに命を救われたが、記憶処理のかかりが悪かったためだ。

ある日、キミは自身の存在が薄れていくのを感じる。

キミとPC2が狼狽していると、脳裡に走馬灯のように流れる映像があった。
……それは、2年前のキミの危機、そこにPC3は現れず……
キミはそのまま死んでしまったのだ。
それを理解した瞬間、キミは世界から消滅した。

秋好という海沿いの街出身の少年
秋好には古くから狼と星にまつわる言い伝えがあり、毎年秋になると街の大通り広場で1週間、秋祭りが行われる
狼はこの街のカントリーサインにも描かれ、守り神の様に思われている為か流星自身も狼に馴染みがあり大好きなモチーフの1つ
来ている服に狼のワッペンなどを沢山つけていたり、狼柄の服などが好き

街のスラム街で生まれ育ち、とってもやんちゃで逞しい
親もおらず、いつ生まれて何歳なのか自分でもわからないが、本人にとってそれが当たり前だったので特に気にしてはいない
少し大きくなってから街を出て裏路地で危ない仕事やゴミ箱を漁って生きていた時、目に何が刺さり、以降左目を失明する出来事があった
本人は、何かガラスの破片でもどっからか飛んできたんじゃないか？くらいにしか思っていないが、賢者の石の石の破片が目に刺さり、以降ワーディングや記憶